

会議録

会議名	令和4年度(2022年度) 第1回八王子市スポーツ推進審議会	
日時	令和4年(2022年)12月21日(水) 19:00~20:30	
場所	八王子市役所 本庁舎 802会議室	
出席者氏名	委員	池田美枝、薄井信一、澤本則男、鈴木紀幸、松井秀夫、松本佐登美、泉愼一、橋本和秀、木内苗津子、園山直樹、作野誠一、高田彬成、林廣子(名簿順)
	事務局	志萱龍一郎(スポーツ担当部長) スポーツ振興課:谷靖之(課長)、青木英之(課長補佐)、北村亮(課長補佐)、花坂健介(主査)、内田美砂(主任)、阿部裕也(主任) スポーツ施設管理課:岡部正訓(課長)、佐取久満(課長補佐)、鈴木悠也(主査)
欠席者氏名	白石幸平委員	
議題	会長及び副会長の選出	
公開・非公開の別	公開	
傍聴人の数	なし	
配付資料名	スポーツ担当所管組織図…資料1 八王子市スポーツ推進計画について…資料2-1~2-5 令和4年度(2022年度)スポーツ施設の整備状況について…資料3 市内で予定されている大規模スポーツイベント等について…資料4	

【会議の内容】

《開会》

発言者	内容
谷課長	<p>【開会、資料確認】</p> <p>スポーツ推進審議会は、スポーツ基本法第31条の規定に基づく附属機関であり、平成19年7月1日から設置しています。委員の任期は「八王子市スポーツ推進審議会条例第3条第2項」の規定により3年。今委員の任期は令和7年6月30日までです。役割は、審議会条例により、スポーツ推進計画や、スポーツの施設及び設備、スポーツ指導者の養成及び資質の向上並びにスポーツ団体の育成に関することなどについて、教育委員会の諮問に応じ、調査、審議し、建議することが所掌事項です。</p>
志萱担当部長	<p>【会議に先立ち挨拶】</p> <p>4月から始まる基本構想・基本計画「八王子未来デザイン2040」は策定最終段階に入っています。スポーツにおいては健康と活力を育むスポーツ・レクリエーションの充実を重点施策とし、スポーツ・レクリエーションの振興、施設の確保に取り組むこととしています。取り組みは変わりませんが、前提条件が異なります。八王子は2040年には10万人程度人口が減少する見込みです。減少後、市内総人口の1/3は65歳以上の高齢者となり、財政が厳しい環境になります。スポーツの役割はより重要になりま</p>

	す。市民の幸福度向上が求められ、健康増進し、健康寿命を延ばし、医療費の削減なども期待されます。今期の任期中に次期スポーツ推進計画の策定予定です。新たに調整・審議していただくこととなりますので、よろしくお願いいたします。
谷課長	出席委員 13 名のため、条例第 5 条第 2 項により本審議会は有効に成立します。 本会議で非公開とすべき案件はありません。 要点録は会議終了後、1 か月程度で公開します。 異議等がありますか。➡異議なしとの声 また、傍聴人の方はいらっしゃいません。 次第に従い進行します。

《委員紹介》

発言者	内容
各委員	各委員自己紹介
事務局	職員自己紹介

《会長及び副会長の選出》

発言者	内容
谷課長	条例第 4 条第 1 項に基づき、委員の互選により会長副会長を選出します。任期は令和 7 年 6 月 30 日までです。会長について立候補又は推薦はありますか。
鈴木委員	事務局一任。
谷課長	事務局一任との声があがりましたが、いかがでしょうか。 ➡異議なし。 作野委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。 ➡異議なし。作野委員に決定。 それでは作野委員、ご挨拶をお願いします。
作野委員	今後、審議会としては推進計画を作る仕事が待っています。国は 3 月にスポーツ基本計画を策定。ポストオリンピック、新しい施策、12 の柱が示されています。新しい国の方針、コロナの影響など、環境の変化を汲み取りながら、よりよい計画を策定できればと考えています。よろしくお願いいたします。
谷課長	ここから先の議事進行は作野委員をお願いします。
作野委員	副会長を選出します。 互選で選出となりますが、人数に規定はありません。慣例的にスポーツ協会委員とレクリエーション協会委員から各 1 名選出していますが、3 名でも問題ないと考えます。仕事の都合で私は海外赴任の予定があります。不在の期間、学識経験者の高田委員に会務を総理していただきたい。事務局いかがでしょうか。
谷課長	問題ありません。
作野委員	他に候補者、推薦はありますか。
鈴木委員	前回副会長を務めたスポーツ協会澤本委員とレクリエーション協会塩澤委員の後任である松井委員を推薦します。
作野委員	計 3 名の推薦がありました。 異議等がありますか。 ➡異議なし。副会長決定。

高田委員	今年度から審議会委員として参加させていただきます。不慣れですが、会長代理と考えております。ご指導、ご鞭撻よろしくお願いいたします。
澤本委員	協会の会長をしていますが、競技は空手をしています。スポーツは施設がないとできません。スポーツ行政にはとても感謝しています。パートナーとして協力は惜しみません。よろしくお願いいたします。
松井委員	レクリエーション協会に所属して40年以上。早朝野球は16歳から80代まで参加者があり、生涯スポーツであると考えています。皆様よろしくお願いいたします。

《スポーツ担当所管組織図（資料1）》

発言者	内容
谷課長	<p>八王子市教育委員会事務局処務規則により、スポーツ振興課とスポーツ施設管理課が設置されています。</p> <p>スポーツ振興課は「スポーツ・レクリエーションに係る企画、調整及び施策の推進に関すること」「スポーツ推進審議会に関すること」「スポーツ推進委員に関すること」「スポーツ・レクリエーション団体の活動支援に関すること」に加え、オリンピック・パラリンピック推進室から引き継いだ「国際スポーツ大会に関すること」が主な事務です。その他スポーツ大会の開催や支援、推進計画の進捗管理、夢街道駅伝の事務局などがあります。</p> <p>スポーツ施設管理課は「運動施設の整備・管理運営に関すること」「公園内運動施設及び陵南プールの管理及び運営に関すること」「体育館の管理及び運営に関すること」「公共用地及び事業所体育施設の開放に関すること」などが主な業務です。その他3体育館及び屋外運動施設の管理運営、施設の改修工事も実施しています。</p>
作野委員	<p>意見等がありますか。</p> <p>➡意見等無し。</p>

《八王子市スポーツ推進計画について（資料 2-1）》

発言者	内容
谷課長	<p>地方自治体のスポーツ推進計画は、スポーツ基本法第 10 条において、国の計画を参酌して定めるよう努力義務として規定されています。本市では平成 26 年 3 月に策定し、令和元年 7 月に中間見直しを実施しました。</p> <p>関連する計画との整合性を図るため、中間見直しの際に 1 年延長し、令和 6 年度末までの 11 年間を期間に設定しました。</p> <p>基本理念は「スポーツとともに生きる」、基本方針は「生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じたまちづくり」としており、5 つの基本施策を設定し、それぞれの課題解決に向けた施策の方向性を整理しています。</p> <p>(3) 数値目標については、スポーツ実施率が目標値にわずかに届いておらず、総合型地域スポーツクラブの数については、目標値と大きく離れた数値となっています。総合型地域スポーツクラブは、地域住民による自主・自立により運営されるものであるため、新規設立が難しい状況です。</p> <p>なお、スポーツ実施率については、国の数値よりも高くなっており、都も最新の発表数値は 68.9%ですが、例年は 60%前後で推移しており、本市は比較的高い数値となっています。総合型地域スポーツクラブ数についても都内最大の数です。</p> <p>国も都も最新の計画では実施率 70%を目指しており、都はさらに向上させる目標としています。</p>
作野委員	<p>ここまで質疑等ありますか。</p> <p>➡特になし。</p>

《八王子市スポーツ推進計画について（資料 2-2）》

発言者	内容
谷課長	<p>資料は令和 3 年度の実績と令和 4 年度の 6 月時点の予定ということで記載しています。</p> <p>「基本施策 1 ライフステージ等に応じたスポーツの推進」について。</p> <p>市民一人ひとりのレベルや志向、環境に見合ったスポーツ活動を推進することにより、誰もがスポーツを身近に感じ、日常的にスポーツを楽しむ施策を展開します。</p> <p>特に「共生社会の実現に向けたスポーツの推進」については、中間見直しの際に新規項目として掲げ、「障害者のスポーツの推進」については、重点項目に位置付けています。</p> <p>令和 3 年度の主な取組として、スポーツを楽しむ機会を創出したり健康増進につなげたりするため、様々なスポーツ教室・大会を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響により中止や縮小となった事業もありますが、対策を講じて可能な限り実施しました。</p> <p>重点項目である「障害者のスポーツの推進」については、誰もが一緒に取り組めるスポーツであり、パラリンピックの正式種目でもある「ボッチャ」について、用具の貸出やスポーツ推進委員の派遣指導を行い普及に努めました。その他にも東京オリンピック・パラリンピックの前後に開催したイベントにおいて、パラスポーツの体験コーナーを設置し、パラスポーツに触れ合う機会を創出しました。1 月にはブラインドサッカー日本選手権が八王子で初めて開催され、その支援を実施しました。ブラインドサッカーは、日本代表選手が複数人選出されているクラブチームが、本市を拠点に活動しているほか、</p>

八王子盲学校もあることから、この機運の高まりに合わせ、令和4年度にフェンスやゴール、ボール等の用具を購入し、今後活用していく予定です。

令和4年度も、コロナの影響により、すでに中止が決まったイベントもありますが、3年ぶりに開催した「ヘルシーウォーキング」、同じく3年ぶりの開催を目指す「全関東八王子夢街道駅伝競走大会」のように、コロナ対策を講じて可能な限り取組を継続します。

「基本施策2 スポーツをする場の整備・確保」について。

スポーツを推進するためには、身近なところで気軽にスポーツに親しむことができる場の確保が必要です。特にチームスポーツや大会開催にあたっては、体育館や陸上競技場等の整備・確保は必須であるため、計画的な施設マネジメントの中で、施設の老朽化対策や既存施設の再整備など、スポーツ施設の整備・充実を図ります。

令和3年度の主な取組としては、富士森公園野球場や甲の原体育館の改修工事を行い、ネーミングライツによる財源確保にも努めました。

また、場の整備・確保については、都立特別支援学校の活用促進事業や大学コンソーシアム八王子がまとめた大学施設開放一覧、TOKYOスポーツ施設サポーターズ事業など、外部資源についても情報を発信し、場の確保に努めました。

令和4年度もこれらの取組を継続し、場の整備・確保に努めます。

「基本施策3 スポーツ情報の充実」について。

市内のスポーツに関する様々な情報を収集・発信するなど、市民がスポーツに興味・関心を持ち、積極的なスポーツ活動に結びつくよう、スポーツ情報の充実を図ります。

令和3年度の主な取組としては、市の広報やホームページ、フェイスブックでイベントや市内団体の情報を発信したほか、スポーツニーズの把握という面では、各種スポーツイベントでの参加者アンケート、市政世論調査、総合型地域スポーツクラブへの団体調査を実施しました。アンケート回収においては、コロナ対策として電子申請サービスによるアンケートを利用しました。

令和4年度もこれまでの取組を引き続き実施していくほか、スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブの情報の発信方法も検討します。

「基本施策4 スポーツを活用した地域づくりと八王子の魅力発信」について。

スポーツがまちづくりにもたらす効果として、経済的効果と社会的効果に着目し、スポーツを活用したまちづくり施策を展開します。

令和3年度の主な取組として、地区運動会への補助金支援、スポーツ推進委員の地域団体への派遣指導、地域団体と協力したイベント・大会の開催など、スポーツを活用した地域交流の促進を図りました。

また、八王子の特性を活かしたスポーツイベントとして、陣場・高尾をコースとする「TOKYO八峰マウンテントレイル」を3年ぶりに開催し、市内外から多くのランナーが参加し、八王子の自然の魅力を発信しました。

令和4年度もこれらの活動を継続しますが、「TOKYO八峰マウンテントレイル」については、登山者の数などコース周辺を取り巻く環境が大きく変化していると考えられることから、コースの調査を実施し、安全な大会開催方法について検討することとしたため、第8回大会は延期することを10月に決定しました。

また、3年ぶりの開催を目指す「全関東八王子夢街道駅伝競走大会」は、全国からラン

	<p>ナーが集まり、実行委員会やボランティア・協賛企業など多くの市民が一体となって運営するイベントで、経済的にも社会的にも大きな効果が期待できるため、安全・安心な大会に向け、準備を進めていきます。</p> <p>なお、令和3年度実績として、総合型地域スポーツクラブ設立希望団体1団体への個別相談と4-1欄に記載しています。当該設立希望団体は、総合型クラブとしての高い理想を持っていたために規約づくりなど積極的に相談に応じましたが、活動場所や協力者の確保に苦勞しており、なかなか話が進んでいない状況です。</p> <p>4-10については実績なしとなっていますが、過去には指導者向けにプロ野球選手の講習会を行うなど取り組んだ事例もあります。ただし、外部指導員の活用も財政的な負担が生じることから、今後も機会をみて対応を検討します。</p> <p>「基本施策5 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたアクションとレガシー」について。</p> <p>東京2020大会に向けて、東京都内自治体として大会の成功を支えるとともに、大会後にも本市の財産となるレガシーを見据えて様々なアクションを実施しました。「する」「みる」「支える」の3つの視点がポイントです。</p> <p>令和3年度の主な取組として、東京2020大会の開催に合わせ、トップアスリートと触れ合う機会の創出や機運醸成、アメリカ合衆国スポーツクライミングチームの事前キャンプの受け入れ、聖火リレーや自転車ロードレースの支援などを実施しました。学校においてもオリパラ精神を学んだり、オリンピック・パラリンピアンと交流を実施しました。コロナの影響により中止となった事業もありますが、事前キャンプの受け入れにおいて、対面ではなく手紙やプレゼントの交換など、可能な限り非接触での交流を実施しました。施策5については、施策名が「オリパラに“向けた”」としているため、進捗状況は全て★マークの完了としていますが、令和4年度以降もボランティアの活用や指導者の資質向上、オリパラ教育など継続して取り組む予定です。東京2020大会に特化していた項目については、令和4年度予定を空欄としていますが、今後もオリパラや世界大会の機会に合わせて検討します。</p>
作野委員	内容について、質疑等ありますか。
高田委員	所管が違うかもしれませんが、部活動の地域移行の問題について、八王子市の運動部活動、中学校の外部委託の問題があります。スポーツ庁としては、方向性の修正をしている段階ですが、この会議の場で審議するのでしょうか。スポーツ施設を活用した取り組みの予定はありますか。
谷課長	国は「地域連携」という表現に変えてきています。八王子市においては、先駆的に合同部活動、拠点式部活動などが行われており、学校教育部が行っています。生涯学習スポーツ部についても、生涯学習政策課とスポーツ振興課で議論をしていきます。具体的な方法論はこれからになります。地域連携を今後より強化していき、課題などを洗い出していこうと考えています。推進計画においても、部活動が掲げられているので、何らかの形で議論をしていただくことになると思います。
作野委員	木内委員はどのように考えていますか。

木内委員	学校としてはとても期待しています。既にいろいろな方にコーチとして来ていただいています。教員のスキルの面を地域の方がカバーしてくれています。八王子市は非常に恵まれていると感じるので、今後期待しています。
作野委員	状況が日々変わっています。所管の問題もありそうなので、内部で調整していただき、審議会でどのように取り組むのか考えていきたいです。

《八王子市スポーツ推進計画について（資料 2-3, 4）》

発言者	内容
谷課長	<p>「次回計画改定に向けて」</p> <p>来年度の夏頃から約 1 年間をかけて調査・審議を予定。会議は素案を完成するまでに 5、6 回は開催する見込みです。詳細なスケジュールは今後お示しします。</p> <p>「関連する他の計画等について」</p> <p>国と都の計画の概要版を資料 2-3、2-4 として配布しています。本編はスポーツ庁や東京都のホームページを参照してください。</p> <p>計画改定時には国や都の最新情報、東京 2020 大会のレガシーを確認しながら、スポーツ実施率を高める施策や、実施率以外の指標を設定するかどうかなど検討する必要があります。</p> <p>国や都の計画においては、スポーツ実施率を 70% まで高め、都はさらにそれ以上に高めるということを「未来の東京戦略」に記載しているため、現在改定中の市の総合計画「八王子未来デザイン 2040」では、実施率 75% という高い目標を設定する予定です。オリパラレガシーについては、これまでの取組を市の各所管がもつ、福祉・文化・多文化共生・産業などの分野別計画の取組として継続し、地域活性化や共生社会の実現につなげていくことと整理しています。</p>
作野委員	<p>国の動向、都の動向なども注視していきたいです。</p> <p>パラスポーツについて、委員から何か強調したいトピック、考え方等がありますか。</p>
泉委員	<p>東京都立八王子東特別支援学校の取組を紹介したいです。IPC のパーソンズ会長が本校にいらっしゃいました。パラスポーツの発展、オリパラのレガシー、文化を引き継いでいくことが共生社会に実現に向けては重要です。都立学校では、ボッチャ、ハンドサッカーを通じて交流を深めています。ボッチャはだれでも取り組めるスポーツということで、この競技の普及はスポーツ実施率でも重要です。是非本校の取組を見に来てほしいと思います。障害のある方と一般の方が交流できる取組を考えていきたいです。</p>
橋本委員	<p>現在東京都障害者スポーツ協会では、都と連携し、パラトレーニングセンターの開設に向け尽力しています。既存のスポーツ団体と比べるとパラスポーツ団体はまだ脆弱です。場所は味の素スタジアム付近にある東京都旧庁舎（調布庁舎）を整備して開設します。これを踏まえて機運醸成など進めていきたいと考えています。都立学校の体育館利用なども、連携を深めて進めていきたいと考えています。</p>
志萱担当部長	<p>ボッチャの推進について、昨年度から市民ボッチャ大会を創設しました。先月第 2 回を開催し、スポーツ推進委員にもご協力いただきました。20 チーム以上参加。車椅子の方も 2 名参加しました。引き続き普及、促進して、より大きな大会にしていきたいと思えます。</p>

《令和4年度（2022年度）スポーツ施設の設備状況について（資料3）》

<p>岡部課長</p>	<p>「甲の原体育館改修工事」 平成5年の3月建設、29年ほど経過しています。 利用者の安全で快適な利用環境の確保及び施設の機能維持を図るため、「中長期保全計画」に基づき、改修工事を行いました。 工期は令和3年9月22日から令和4年9月7日までで、運営再開日は令和4年10月1日です。事業費は8億9,400万円。主な工事内容は建築工事、空調換気設備工事、電気設備工事、給排水衛生設備工事、昇降機設備更新工事です。</p> <p>「上柚木公園陸上競技場改修工事」 多摩地区唯一の2種公認施設。中長期保全計画に基づく改修工事とともに、更新に伴う整備を行いました。 工期は令和4年2月25日から令和5年2月28日までで、公認更新の検定予定日は令和5年1月15日です。事業費は7億5,900万円。主な工事内容はインフィールド等改修工事、公認更新整備工事（走路改修工事等）、管理舎改修工事（建築工事・空調換気設備工事・電気設備工事・給排水衛生設備工事）です。</p> <p>「富士森野球場改修工事」 建設が昭和31年7月で、使用開始から67年経過しています。 今年度は富士森公園野球場管理舎内の照明器具が経年使用により、劣化や腐食がある状況から利用者の安全確保、施設の適正維持管理運営のための改修工事を実施しました。 工期は令和4年8月25日から令和5年2月28日までを予定しており、現場作業は12月の冬季閉鎖に合わせて行っています。事業費は2,200万円。主な工事内容は照明器具等改修工事、照明器具等改修に伴う天井改修工事です。 その他日々可能な限り計画的な施設の改修工事を実施しています。</p>
<p>作野委員</p>	<p>スポーツをやるうえで施設整備は非常に重要です。 何か意見等ありますか。</p>
<p>澤本委員</p>	<p>富士森球場の東側に弓道場を造るという計画があったと思いますが、進捗はどうなっていますか。</p>
<p>岡部課長</p>	<p>今回は既存施設の改修状況について説明しました。新規の施設については、コロナの影響で着工が遅れており、開始時期を探っている状況です。</p>
<p>澤本委員</p>	<p>関係する競技団体から進捗はどうなっているのか、確認してほしいとされています。 団体は着工の話がなくなったのではと危惧しています。</p>
<p>岡部課長</p>	<p>実施の開始時期を模索している状況です。競技団体の方にも定期的にできるだけ寄り添って説明しています。コロナで断ち切ったわけではないです。弓道場はコロナ禍の最初の時期に着手予定でしたが。当時は市の方針として、着手を見送るべきという方針がありました。順次着工時期を模索しています。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>上柚木公園陸上競技場について、観客席に屋根はできないのでしょうか。</p>
<p>岡部課長</p>	<p>今回実施しているのは中長期保全計画に基づき、できるだけ市の施設を延命しようと工事を進めています。大規模なレベルアップは図っていません。大規模な工事は様々な諸要件があります。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>以前お客さんに日傘を貸したのですが、せっかく来たのに暑くて見てもらえないと言っていました。整備計画にあればぜひやってほしいと思います。</p>

岡部課長	申し訳ありませんが、屋根付きの屋外施設は現状存在していません。無理のない範囲でご利用いただきたいです。
作野委員	各施設は長寿化が課題となっています。酷暑で日影がないような状況は、利用者の安全・安心という観点から今後考えていく必要があります。
高田委員	改修の場合は、国の1/3補助などはありますか。
岡部課長	国、totoも含め、使える補助金はすべて活用しています。国の補助金1/3といいますが、条件はかなり厳しく、補助要件に該当する工事は全体のごく僅かだったりします。補助率通りにはいかない。希望通りにはいかないジレンマがあります。
作野委員	よくスポーツ施設にtotoの看板が掲げられていますが、活用していますか。
岡部課長	上柚木陸上競技場の走路はtotoの補助金をいただいています。毎年財源として大変感謝しています。
澤本委員	以前の審議会で、上柚木のプール解体に伴い、代替として近隣の小学校のプールを借りるという話があったと思いますが、その後はどのような状況でしょうか。
岡部課長	大塚公園のプールのことかと思いますが、現状、小規模な修繕では立ち直れない状態です。昨年度は学校のプール開放などもコロナでできませんでした。今年度は近隣の小学校2~3校にプール開放でご協力をいただきました。
澤本委員	学校のプールの使用率などのデータを取って、データが取れたら解体するという話だったと記憶しています。データがそろってないだけで、その方向ではあるのでしょうか。
岡部課長	データの蓄積はまだないですが、その方向ではいます。
作野委員	今の話は学校開放関係所管の案件になるのでしょうか。
岡部課長	学校の夏季プール開放はスポーツ施設管理課で、通常の校庭、体育館などは学校施設課になります。
園山委員	本校ではプール開放はしていませんが、ニュータウン地区の小学校を見に行ったところ大変盛況でした。高齢者の方も来て楽しんでいました。プール開放自体の価値は高いと考えます。水泳に親しむのは大事です。学校の施設開放で市民の理解のもと、子どもたちがプールに入り、地域の人たちも楽しむというのは非常に良いと思います。学校では、気温が高くなると熱中症の観点からプールは中止する場合がありますが、制限が多くなる開放だと市民の方は来にくくなります。管理は難しいが、価値は高いと考えます。
作野委員	水泳はやりたいスポーツで上位に来ます。歩行訓練にも使えます。そういう場があると、市民からの評価は高いです。

《市内で予定されている大規模スポーツイベント等について（資料4）》

谷課長	まず初めに、IFSCボルダリングワールドカップ2023についてです。 これまで本市では2017年、18年にワールドカップ、2019年に世界選手権が開催されており、本大会で4年ぶり4回目のクライミング国際大会の開催となります。
-----	---

	<p>日程は、令和5年4月21日金曜日から23日日曜日までの3日間で、会場はエスフォルタアリーナ八王子のメインアリーナです。国際スポーツクライミング連盟と日本山岳スポーツクライミング協会が主催で、本市としても会場確保、周知協力、レセプションパーティーの開催といった大会の支援を予定しています。</p> <p>過去大会の実績からも、大会に合わせ多くの選手、来場者が見込まれるとともに、多くの経済波及効果が見込まれます。</p> <p>なお、「ボルダリング」という名称について、世界的には「ボルダー」という言葉が標準的であることから、日本でも今大会を機に「ボルダー」という名称に変更される予定です。</p> <p>続いて、多摩自転車ロードレース大会についてです。</p> <p>昨年東京2020オリンピック競技大会の自転車ロードレースにおいて、本市がコースの一部となりましたが、大会のレガシーとして、東京都及び実行委員会主催で、複数の自治体をまたがる大規模な自転車ロードレース大会の開催が予定されています。</p> <p>詳細は未定ですが、来年秋から冬頃、東京2020大会のコースをベースに開催される予定です。</p> <p>また、本大会は今後国際連盟から公認される大会としての位置付を目指しており、世界各国の一流レーサーが出場するほか、一般参加も可能です。</p> <p>最後に、来年開催されるイベントではありませんが、参考として、アメリカ合衆国スポーツクライミング代表チームとの交流について報告します。</p> <p>東京2020大会の際、本市はアメリカ合衆国スポーツクライミング代表チームの事前キャンプを受入れ、大会を機に、同国のホストタウンとなりました。</p> <p>今年の10月に岩手県盛岡市で開催されたクライミングワールドカップ出場後、チームの選手等が東京2020大会のお礼に本市を訪れることとなったため、昨年はコロナの影響で叶わなかった、市内の子どもたちとのボルダリング交流を実施しました。</p> <p>来年の4月もチームは本市を訪れる予定であるため、引き続き交流が実現できるようチームと調整していきます。</p>
作野委員	ワールドカップはどのくらいの選手が来る見込みですか。
北村課長 補佐	2018年と同程度と聞いています。
作野委員	自転車競技は東京2020オリンピックのコースを参考にしたコースですか。
谷課長	そう聞いています。八王子についてはかなり広範囲に走行すると聞いています。
志萱担当 部長	1964年のオリンピックの際も八王子はコースとなったことから、1964年と2020年大会を合わせたコースと聞いています。

《その他》

作野委員	その他何か意見等がありますか。
------	-----------------

薄井委員	<p>グラウンドゴルフをやっており、年々高齢者が多くなっています。広報に記事を書ける、友達の紹介など、人数を確保しています。生涯スポーツの中で、高齢者に適したものがいろいろあると思いますが、紹介する機会が欲しいと考えます。板橋区では高齢者に向いているスポーツを紹介するイベントがあったようです。いろいろなスポーツを体験できるイベント。グラウンドゴルフやニュースポーツなど、一緒に体験できることは、スポーツをやりたいがっている人にとっては非常にいい機会と考えます。このようなイベントを市でやってほしいです。</p>
谷課長	<p>参考にさせていただきます。</p>

《閉会》